

第4期会計人材開発支援プログラムについて

1. 第4期会計人材開発支援プログラムの終了について

財務会計基準機構（FASF）は、我が国における国際的な会計人材の発掘・育成を目的として、2018年1月から第4期会計人材開発支援プログラム（以下「第4期プログラム」という。）を実施してきたが、2018年12月に予定されていたすべてのプログラムを終了した。

会計人材開発支援プログラムは、国際会計基準審議会（IASB）理事をはじめとする、IFRS財団及びIASBの組織や会議体に優秀な人材を継続的に送ることを目指し、中長期的な視野から会計人材の育成、特に国際的な会計人材の育成を図るため、市場関係者の協力を得て2012年1月にスタートした。

第4期プログラムの実施に際しては、第3期と同様にできるだけ多くの人数からなる人材プールの構築に資することを目的に、プログラム期間を1年とした少人数制を採用した。また、第3期参加者から要望の多かった英語力の向上を視野に入れたプログラムを取り入れ、これを実施した。

なお、第4期プログラムの受講者16名（財務諸表作成者8名、利用者4名、監査人4名）は、「国際会計人材ネットワーク」との連携を図ることによる相乗効果を期待し、「国際会計人材ネットワーク」への登録者を対象に募集した。

受講者の職場の方々のご理解・ご協力により、第4期プログラムも高い出席率で実施することができた。関係各位に対し、この場を借りて心からお礼を申し上げたい。

2. 第4期プログラム開催内容について

第4期プログラムは、(1)概念フレームワークに関する講義、(2)企業会計基準委員会（ASBJ）関係者による講義と意見交換、(3)国内関係者との意見交換、(4)IFRS関係者との意見交換及び(5)英語によるディスカッション・トレーニングの5つの内容を実施した。

(1) 概念フレームワークに関する講義

秋葉賢一 早稲田大学大学院会計研究科教授を講師に迎え、「IFRS開発の基礎となる考え方（概念フレームワークを含む）や、概念フレームワークと個々のIFRSとの関係などを考察し、理解を深める」ことを目的に8回（1月、4月、7月、10月を除く月1回）実施した。

第1回 「財務報告の目的」（2018年2月20日）

第2回 「財務情報の質的特性」（2018年3月9日）

第3回 「財務諸表の構成要素」（2018年5月22日）

第4回 「資本維持」（2018年6月15日）

第5回 「認識」（2018年8月9日）

第6回 「認識の中止」（2018年9月10日）

第7回 「測定」(2018年11月21日)

第8回 「資本と利益」(2018年12月7日)

(2) ASBJ 関係者による講義と意見交換

ASBJ 常勤委員(小野行雄委員長、小賀坂 敦副委員長及び川西安喜委員)を講師とし、8回(1月、4月、7月、10月を除く月1回)実施した。

第1回 「IFRSの基礎知識ほか」 川西委員(2018年2月14日)

第2回 「我が国の発言力の確保と会計基準のあり方」 小賀坂副委員長(2018年3月28日)

第3回 「測定ほか」 川西委員(2018年6月1日)

第4回 「のれんの会計処理、仮想通貨の会計処理」 小賀坂副委員長(2018年6月19日)

第5回 「国際的な会計基準の開発において日本の果たすべき役割は何か」 小野委員長(2018年8月27日)

第6回 「ケース・スタディ」 川西委員(2018年9月26日)

第7回 「無形資産会計のあり方について」 小賀坂副委員長(2018年11月16日)

第8回 「第4期プログラムの成果について」 小野委員長、小賀坂副委員長及び川西委員(2018年12月19日)

(3) 国内関係者との意見交換

鶯地隆継 IASB 理事、元 IASB Visiting Fellow で元 ASBJ 専門研究員でもある有限責任監査法人トーマツの山神卓士氏を講師に迎え、2回実施した。

第1回 「IASB のリサーチプログラム、Business Combinations under Common Control (BCUCC)、のれん」 鶯地 IASB 理事(2018年6月26日)

第2回 「IASB 派遣について」 山神氏(2018年9月18日)

(4) IFRS 関係者との意見交換

Nick Anderson IASB 理事との意見交換を実施した。

「Discussions with IASB Board Member Mr. Nick Anderson」 Anderson IASB 理事
(2018年3月16日)

(5) 英語によるディスカッション・トレーニング

英語のネイティブスピーカーである Srijit Banerjee 氏、Tal Davidson 氏を講師に迎え、あらかじめ与えられたテーマを基にディスカッションを実施した。

第1回 “Should fair value be the primary measurement attribute in IFRSs? In other words should measurement at (amortised) cost be significantly reduced?” (2018年11月13日)

第2回 “Should goodwill be amortised or should an impairment-only model be applied? If goodwill should be amortised, how should the amortisation period be determined?” (2018年11月27日)

第3回 “Which are more superior, principles-based accounting standards or rules-based accounting standards?” (2018年12月18日)